授業科目名・形態	母性看護方法論Ⅱ （産褥期・新生児期の看護）　演習	必修・選択の別	必修	単位数	1
科目担当者氏名	岩間　薫　他	実務経験の有無	有	開講期	２年後期
科目ナンバリング	N5-2008npmht				

【授業の主題】

周産期の産褥期にある女性と新生児期にある対象者の健康問題を総合的に捉え、健康診査、健康教育・援助等を行うための基礎的知識・技術および異常時の看護等について学ぶ。また、母性看護技術として事例の看護過程を展開し、褥婦と新生児の看護について理解を深める。

【到達目標】

マタニティサイクル（産褥期）にある女性、新生児の健康診査、健康教育・援助等を行うための基礎的知識・技術及び異常時の看護等について理解する。

【授業計画・内容】

第 1 回　産褥期の看護（1）　　(岩間)
第 2 回　新生児期の看護（1）　(工藤)
第 3 回　新生児期の看護（2）　(工藤)
第 4 回　産褥期の看護（2）　　(岩間)
第 5 回　産褥期の看護（3）　　(岩間)
第 6 回　産褥期の看護（4）　　(岩間)
第 7 回　産褥期の看護（5）　　(岩間)
第 8 回　母性看護技術演習（1）：看護過程展開①　　(岩間)
第 9 回　母性看護技術演習（2）：妊婦・褥婦のフィジカルアセスメント　(工藤)
第 10 回　母性看護技術演習（3）：新生児の清潔ケア　(岩間、日沼)
第 11 回　母性看護技術演習（4）：看護過程展開②　　(岩間)
第 12 回　母性看護技術演習（5）：看護過程展開③　　(岩間)
第 13 回　母性看護技術演習（6）：看護過程展開④　　(岩間)
第 14 回　母性看護技術演習（7）：看護過程展開⑤　　(岩間)
第 15 回　授業のまとめ　　(岩間)

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行うので主体的に授業に参加すること。
授業中、事前学習課題を発表してもらいます。

【事前・事後学習】

・講義内容に関する課題を毎回事前に配布するので事前学習として毎回 30 分以上行うこと。
・講義内容を踏まえ、復習を毎回 30 分以上行うこと。

【主な関連する科目】

母性とセクシュアリティ、母性看護学概論、リプロダクティブ・ヘルス／ライツ、母性看護方法論Ⅰ、母性看護学実習、助産科目

【教科書等】

系統看護学講座　専門分野Ⅱ　母性看護学［2］母性看護学各論　（医学書院）
ナーシング・グラフィカ　母性看護学③　母性看護技術　（メディカ出版）

【参考文献】

適宜提示

【成績評価方法】

筆記試験 90%、授業への取り組み姿勢・提出物等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

国公立大学医学部附属病院で助産師として産婦人科病棟や外来において母性各期にある女性や妊産褥婦およびその家族への対応や看護等の実務経験あり。
実務経験から得た母性看護における知識や技術を妊産褥婦および新生児の看護や援助等を行うための授業に活かしていきたい。

【学生へのメッセージ】

・ 母性看護方法論Ⅰに続く授業です。3 年生の母性看護学実習を行うため、さらに授業に集中し、予習、復習に励んでください。